

第7回協議会（勉強会）の概要について

1 日時

平成27年1月30日（金）15:30～16:30

2 出席者

- 花山院弘匡委員長
- 森本哲次委員長職務代理
- 佐藤進委員
- 高本恭子委員
- 吉田育弘教育長

3 テーマ

「奈良県の児童生徒の体力の現状について」

4 協議内容

- 事務局が、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、平成20年の調査開始時は全国で低位であったが、本年度、特に中学生の体力合計点で非常に高い伸び率を示し、小・中学校ともに全国平均レベルまで向上したことや、今後の目標として「平成28年度までに、全ての種目で全国平均値以上」「平成31年度には全国10位以内」を目指すことを報告した。また、今後の体力向上の取組として、ダンス・武道の授業への専門的指導者の派遣、中学校区単位での運動教室の実施、運動場・園庭の芝生化について説明した。
- 説明を受けて、委員から、天然芝と人工芝の違いについて質問があり、事務局が「人工芝は初期投資は高いが、天然芝に比べ、芝の維持管理にコストがかからない。また、運動場の使用頻度の高い高等学校では、天然芝は維持できないため、現在、人工芝での芝生化を検討している。」と説明した。
- また、委員から、「ダンス・武道の授業への専門的指導者の派遣については、退職校長の活用も検討できるのではないか。」「女子の運動時間を増加させるため、競技性も大切ではあるが、時にはゲーム性を重視した取組を実施することで、運動好きの子どもを増やしていくことも必要ではないか。」「体力テストを実施する際に一生懸命取り組む学校の雰囲気をつくるのが大切である。」等の意見が出た。
- 最後に、「体力向上推進連絡会や学校現場の先生方の努力の結果、奈良県の子どもたちの体力が着実に向上しつつある。今後とも、運動好きの子どもを増やし、運動量を増加させるため、保・幼・小・中・高と全校種で連携をしながら教職員や保護者に働きかけて、体力向上に向けた取組を進めることが必要である。」ことを共通理解した。
- 次回は2月12日の予定で、「奈良県の公立学校における不登校児童生徒の状況」について討議を行うことにする。